

決算説明資料

2025年3月期 第1四半期

株式会社ユビキタスAI
代表取締役社長 長谷川 聡
2024年8月14日

Index

- 2025年3月期 第1四半期 業績 概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

2025年3月期 第1四半期 業績 概要

業績概況

2023年10月に子会社化したグレープシステム社（GS社）の売上が寄与し、対前年同期比で売上高が大幅に増加。一方で、ロイヤルティ売上の減少、一部顧客の出荷実績報告遅延により翌月計上となり売上・利益に影響、会社規模拡大に伴う内部統制の整備・運用など販管費が増加し、対前年同期比で営業損失額増加

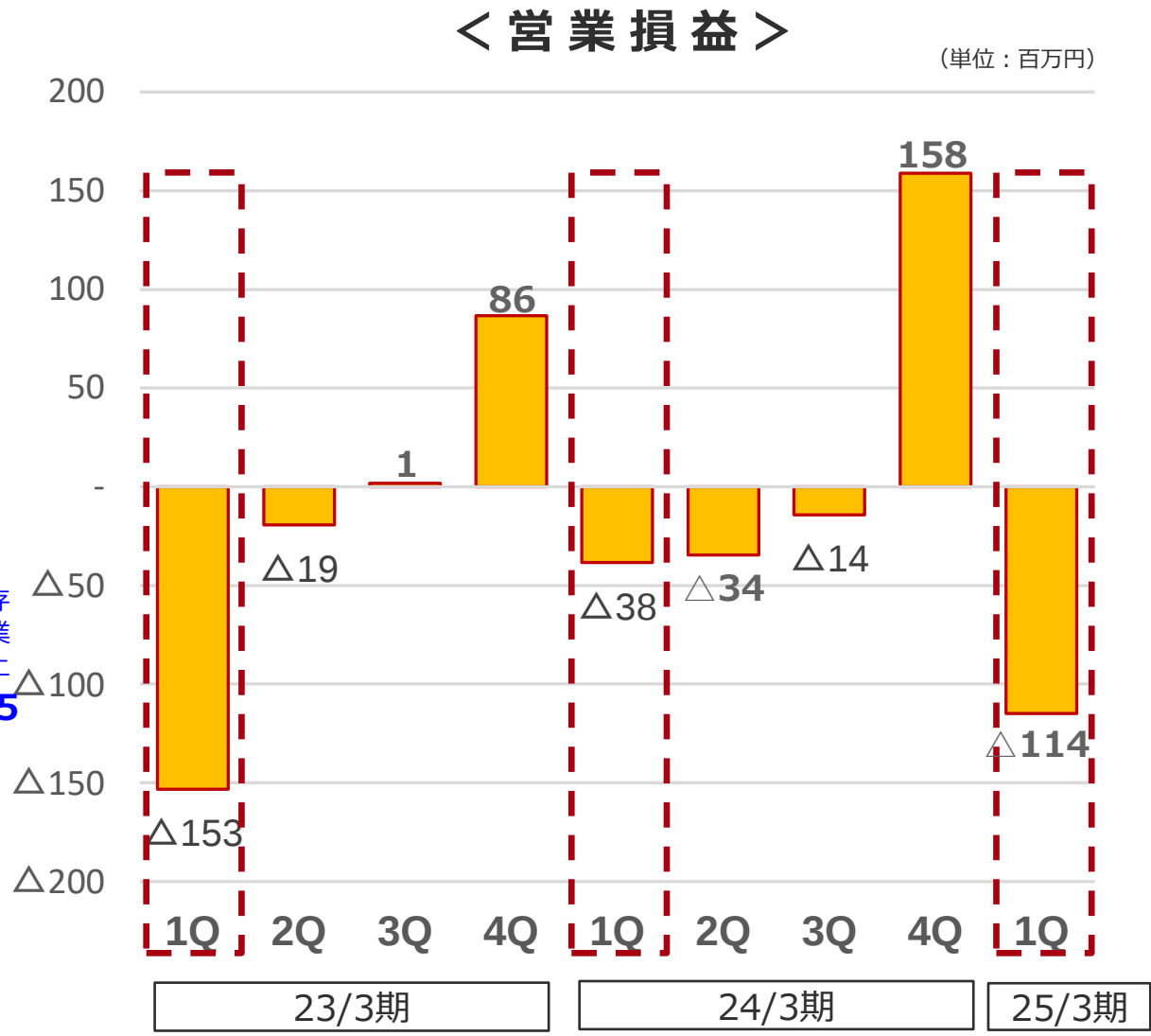
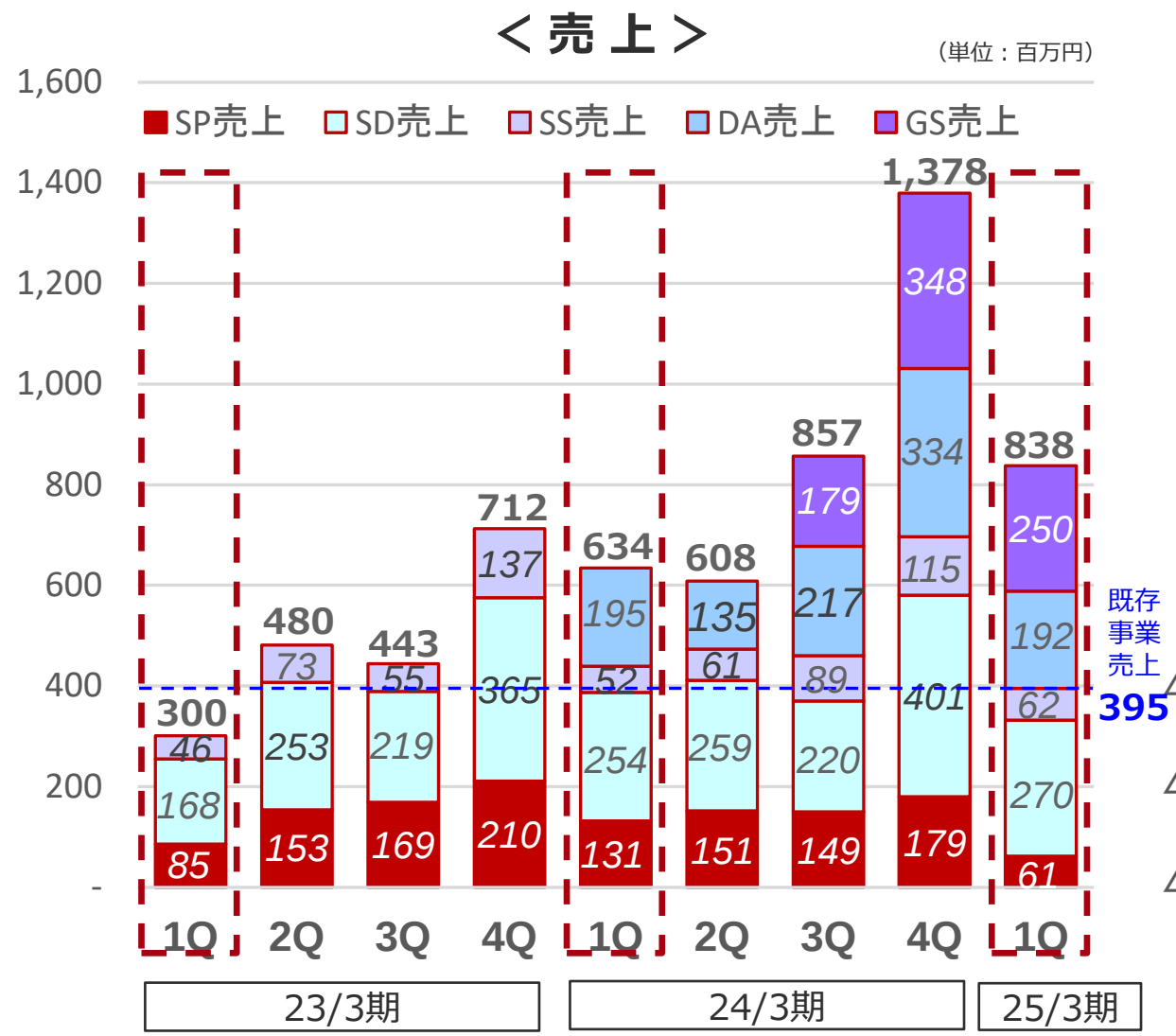
- 連結売上高：838百万円（対前年同期比：32.0%増）
- 連結営業損失：114百万円（前年同期営業損失：38百万円）

※GS社の業績値はデータアナリティクス事業以外に按分

事業セグメント	当四半期 売上高 営業損益	前年同期 売上高 営業損益	概況（対前年同期比）
ソフトウェアプロダクト事業	132百万円 △91百万円	131百万円 △11百万円	一部既存顧客製品の生産終了・計画変更によるロイヤルティ売上の減少、一部顧客の出荷実績報告遅延に伴うロイヤルティ売上の翌月計上により、GS社売上分が追加となったが、売上高は前年同期と同水準、営業損益は前年同期を下回った
ソフトウェア ディストリビューション事業	319百万円 △18百万円	254百万円 △38百万円	既存顧客向けライセンス売上の前倒しと新規顧客への開発ライセンス販売に加えて、GS社売上分の追加および円安による為替差益により、売上高が対前年同期比で増加、営業損益改善
ソフトウェアサービス事業	193百万円 △2百万円	52百万円 2百万円	既存事業の受託開発売上が好調、GS社売上追加が大きく寄与、対前年同期比で売上高大幅増、営業利益は微増もののれん償却により微減（損失）
データアナリティクス事業	192百万円 △1百万円	195百万円 8百万円	一般企業および政府機関へのパッケージソフト売上増、価格改定実施により同水準の売上を確保したが、為替の影響を受け営業損失（前年同期はスポットで発生した大型案件が存在）

四半期別 売上高・営業損益の推移

(注) : SP=ソフトウェアプロダクト事業
SD=ソフトウェアディストリビューション事業
SS=ソフトウェアサービス事業
DA=データアナリティクス事業
GS=グレースシステム



対前年同期比:セグメント別売上及び利益

(単位:百万円)

				25/3期 1Q (連結)	24/3期 1Q (連結)	増減額	増減率 (%)
		従前の セグメント	グレープ システム				
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	61	70	132	131	-	0.4
	セグメント利益	△88	※2 △3	※2 △91	△11	△79	-
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	270	48	319	254	64	25.4
	セグメント利益	△16	※2 △1	※2 △18	△38	19	-
ソフトウェアサービス事業	売上高	62	130	193	52	141	269.9
	セグメント利益	7	※2 △10	※2 △2	2	△5	-
データアナリティクス事業	売上高	192	-	192	195	△3	△1.5
	セグメント利益	※1 △1	-	※1 △1	8	△10	-
合計	売上高	587	250	838	634	203	32.0
	営業利益	※1 △99	※2 △15	※3 △114	△38	△76	-

(注) ※1 株式会社ライトストーンの株式取得に関して生じたのれんの償却額 9百万円を含めております。

※2 株式会社グレープシステムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 13百万円を含めております。

なお、当該のれん償却額は、同社が営むデータアナリティクス事業以外の各事業に按分しております。

※3 上記ののれんの償却額 23百万円を含めております。

対前年同期比:セグメント別売上及びのれん償却前利益

(単位：百万円)

				25/3期	24/3期	増減額	増減率 (%)
		従前の セグメント	グレース システム	1Q (連結)	1Q (連結)		
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	61	70	132	131	-	0.4
	セグメント利益	△88	※2 △0	※2 △88	△11	△76	-
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	270	48	319	254	64	25.4
	セグメント利益	△16	※2 △0	※2 △16	△38	21	-
ソフトウェアサービス事業	売上高	62	130	193	52	141	269.9
	セグメント利益	7	※2 △0	※2 6	2	3	129.2
データアナリティクス事業	売上高	192	-	192	195	△3	△1.5
	セグメント利益	※1 7	-	※1 7	18	△10	△58.0
合計	売上高	587	250	838	634	203	32.0
	営業利益	※1 △90	※2 △1	※3 △91	△28	△62	-

(注) ※1 株式会社ライトストーンの株式取得に関して生じたのれんの償却額 9百万円を含めておりません。
※2 株式会社グレースシステムの株式取得に関して生じたのれんの償却額 13百万円を含めておりません。
※3 上記ののれんの償却額 23百万円を含めておりません。

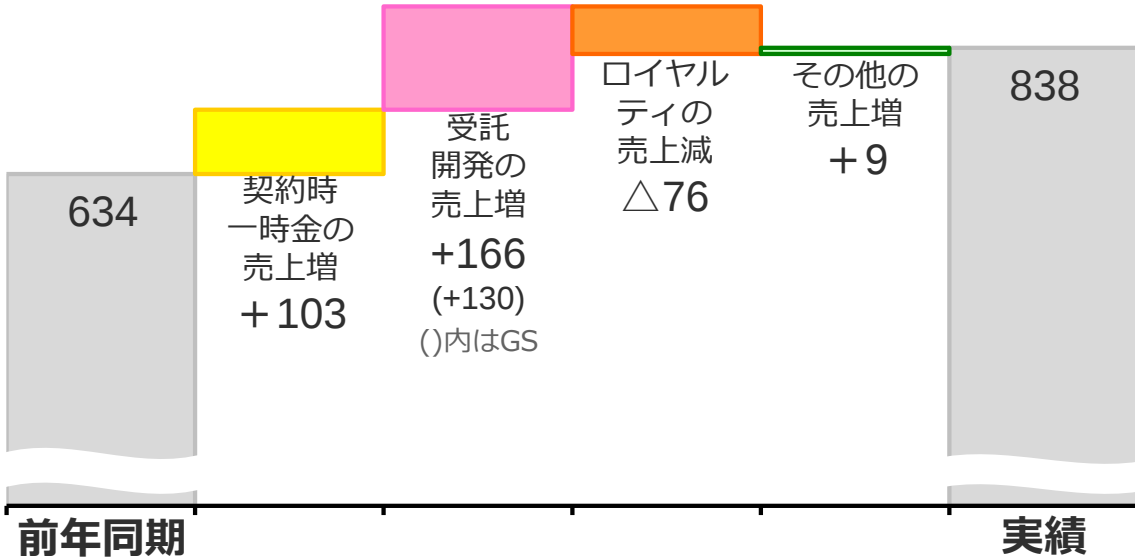
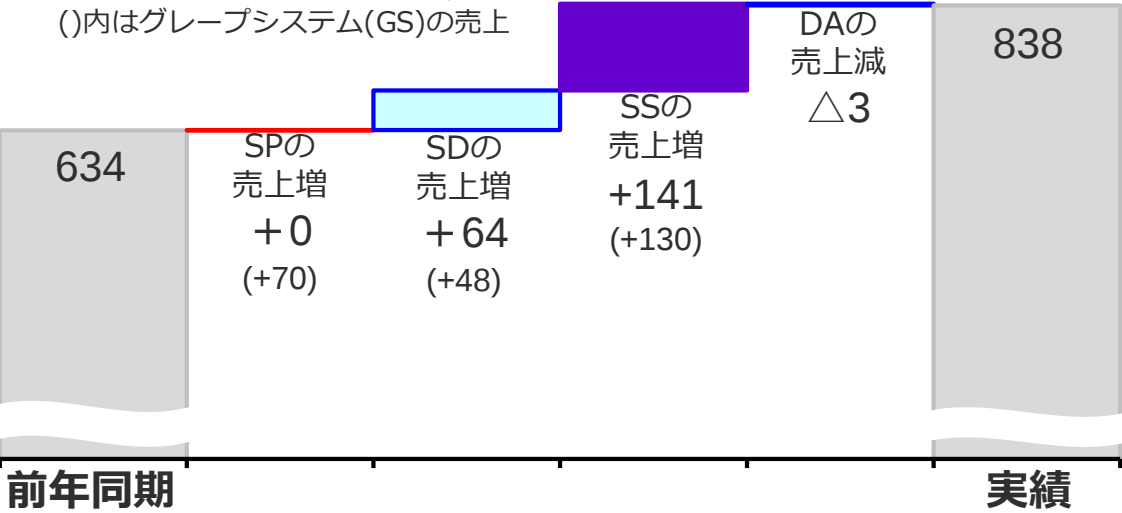
対前年同期比：売上高（セグメント別及び形態別）

(単位：百万円)

事業セグメント別

形態別

(注)SP=ソフトウェアプロダクト事業
SD=ソフトウェアディストリビューション事業
SS=ソフトウェアサービス事業
DA=データアナリティクス事業
()内はグレースシステム(GS)の売上

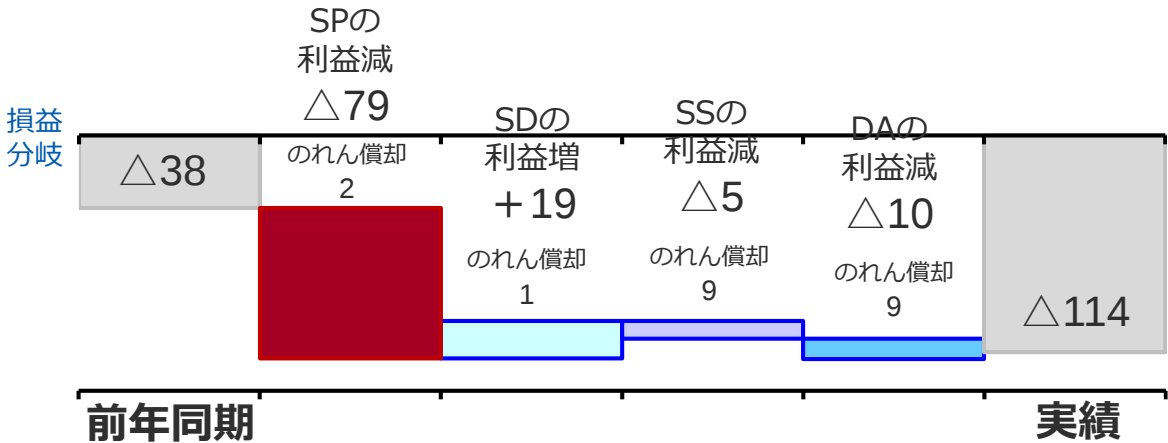


対前年同期比：営業利益（セグメント別及び費目要因別）

(単位：百万円)

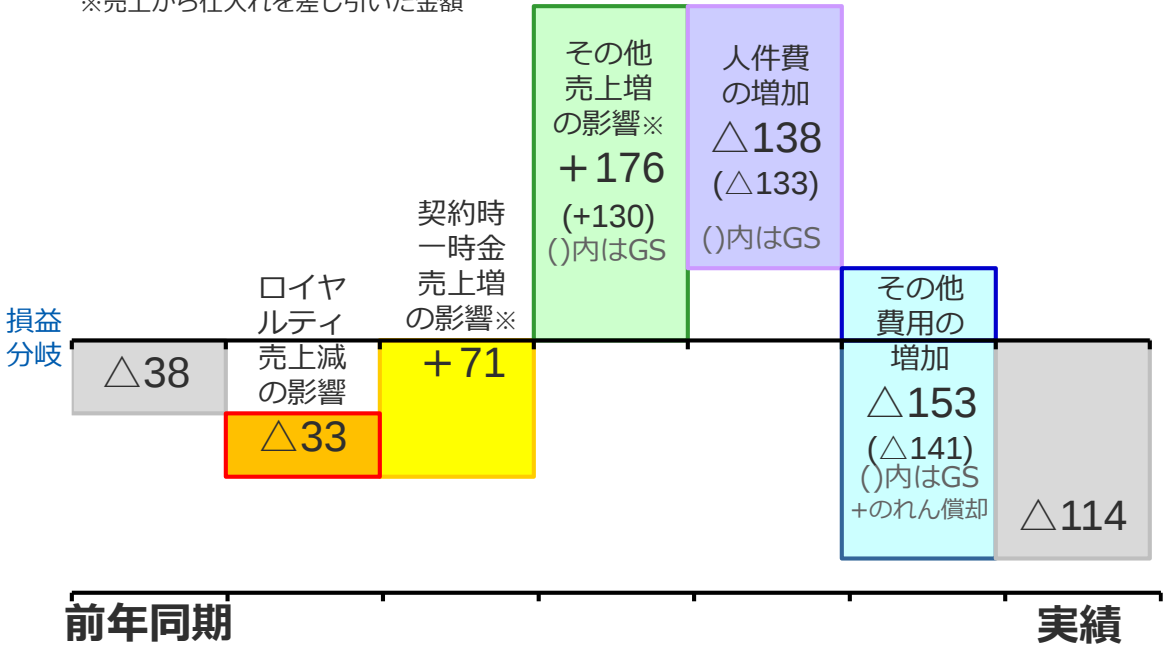
事業セグメント別

(注)SP=ソフトウェアプロダクト事業
SD=ソフトウェアディストリビューション事業
SS=ソフトウェアサービス事業
DA=データアナリティクス事業
()内はグレープシステム(GS)の売上



費目要因別

※売上から仕入れを差し引いた金額



対前年同期比：連結損益計算書

(単位：百万円)

	25/3期 1Q	24/3期 1Q	増減
売上高	838	634	203
売上原価	554	376	178
売上総利益	283	258	25
販管費	398	297	101
営業利益	△114	△38	△76
営業外損益	2	11	△9
経常利益	△112	△26	△85
特別損益	45	-	45
税金等調整前利益	△67	△26	△40
法人税等	8	△2	10
四半期純利益 ※	△75	△24	△50

役員退職慰労引当金戻入額

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

連結貸借対照表（資産の部）

(単位：百万円)

	24/6月末	24/3月末	増減
現金・預金	1,404	1,471	△66
受取手形・売掛金・契約資産	619	1,050	△430
棚卸資産	34	20	13
前払費用	82	77	4
その他流動資産	42	29	12
流動資産	2,184	2,650	△465
のれん	418	442	△23
その他固定資産	646	639	6
固定資産	1,065	1,082	△16
資産合計	3,249	3,732	△482

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

(単位：百万円)

	24/6月末	24/3月末	増減
買掛金	105	317	△212
短期借入金※	75	213	△137
未払金	144	93	51
契約負債	143	148	△5
その他流動負債	135	191	△55
流動負債	605	964	△359
長期借入金	62	73	△10
役員・従業員退職給付引当金	213	276	△62
繰延税金負債	50	45	4
その他固定負債	39	253	7
固定負債	366	434	△67
資本金・資本剰余金	2,936	2,936	-
利益剰余金	△816	△741	△75
その他純資産	157	137	19
純資産	2,277	2,333	△55
負債・純資産合計	3,249	3,732	△482

※短期借入金：短期借入金 + 1 年内返済予定の長期借入金

通期業績予想（連結）に対する進捗

(単位：百万円)

	通期 業績予想	第1四半期 実績	進捗率 (%)
売上高	4,022	838	20.8
営業利益	40	△114	—
経常利益	38	△112	—
純利益	△22	△75	—

セグメント及び 製品分野別動向と取り組み

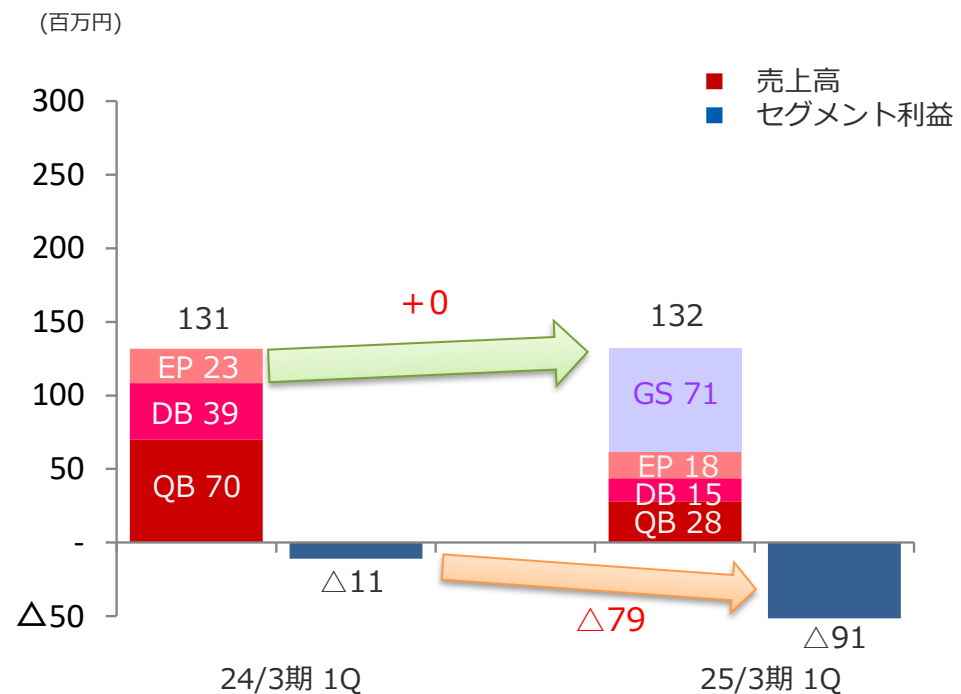
ソフトウェアプロダクト事業

■ 取り組み方向性

- 高速起動製品における次世代プラットフォーム対応強化と海外展開による更なる事業成長
- IoT機器の脆弱性に対する懸念の高まりに応えるためのセキュリティ製品の販促・提案強化

■ 当四半期概況

- 対前年同期比で売上は同水準、営業損益は減少
 - 一部既存顧客製品生産終了・計画変更によるロイヤルティ売上の減少
 - 一部顧客の出荷実績報告遅延に伴うロイヤルティ売上計上の翌月計上
- 製品別概況
 - 高速起動製品：売上高・営業損益ともに前年同期減
 - ▶ 既存顧客の一部製品生産終了によるロイヤルティ売上の減少
 - ▶ 一部顧客の出荷実績報告遅延に伴うロイヤルティ売上の翌月計上
 - 他製品：GS社売上追加分を除くと売上高・営業損益ともに前年同期減
 - ▶ 一部既存顧客の製品生産計画変更の影響によりロイヤルティ売上が減少
 - ▶ 2023年10月に子会社化したグレープシステム社売上が追加



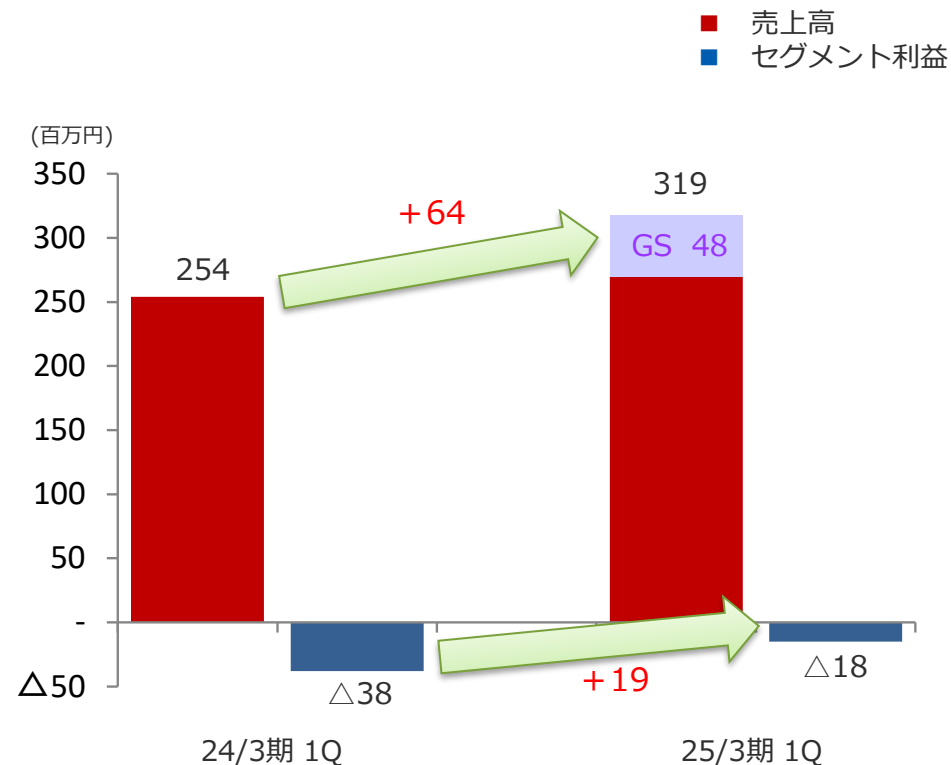
ソフトウェアディストリビューション事業

■取り組み方向性

- ソフトウェア開発品質向上支援ツールの販売推進と、サイバーセキュリティ需要増に対応する検証ツール・サービス事業の強化
- 既存の主力製品を中心に拡販展開
- 海外製新商品取扱いを推進

■当四半期概況

- 対前年同期比で売上増加、営業損益改善
 - ネットワークマネジメント製品の既存顧客へのライセンス売上前倒し
 - ミドルウェア製品の新規顧客への開発ライセンス販売
 - GS社取扱い海外製品の売上追加
 - 円安による為替差益のプラス効果



※GS: グレープシステム

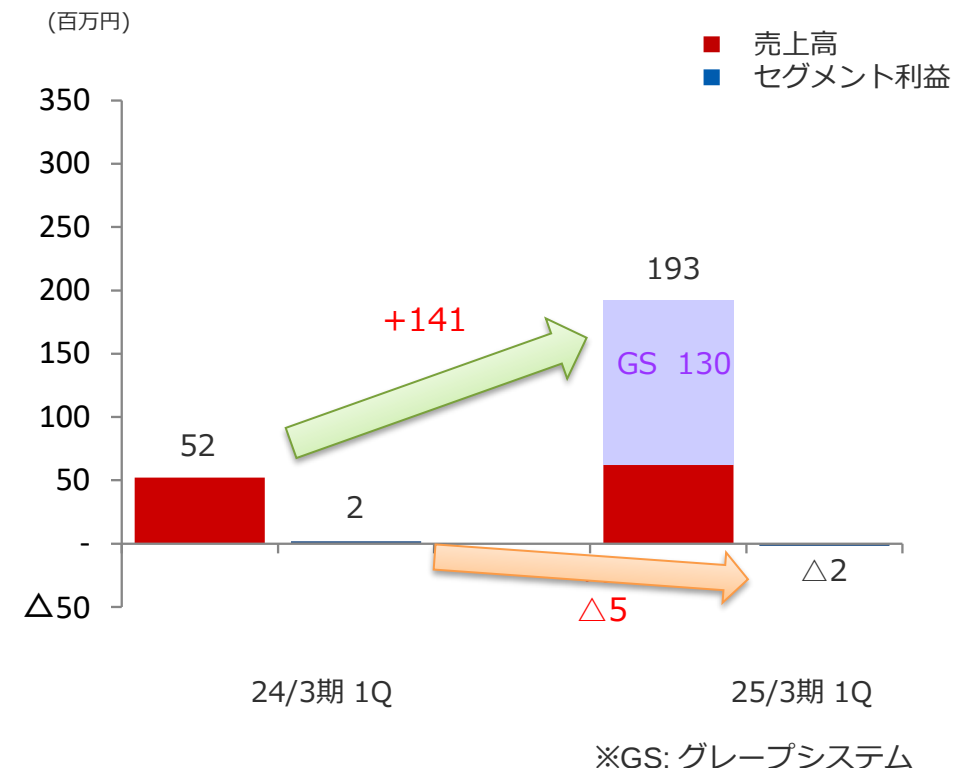
ソフトウェアサービス事業

■取り組み方向性

- 既存顧客との長期的な関係構築による安定した受託開発案件の引き合い
- GS社子会社化に伴う受託開発力強化により、製品販売関連の受託開発、製品販売を伴わない既存顧客からの受託開発案件を積極的に獲得
- 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的確保と、協業提案による新たな取り組みと、車載機器のCD再生機能搭載率低下による「YOMI」ライセンスの減少を補うためのストリーミングメディアなど新たな分野へのアプローチや受託開発案件の強化

■当四半期概況

- 対前年同期比でGS社の売上追加により大幅増、営業利益微減（損失）
 - 受託開発売上が好調、GS社売上追加が大きく寄与
 - 営業利益は既存分は微増もGS社ののれん償却もあり微減



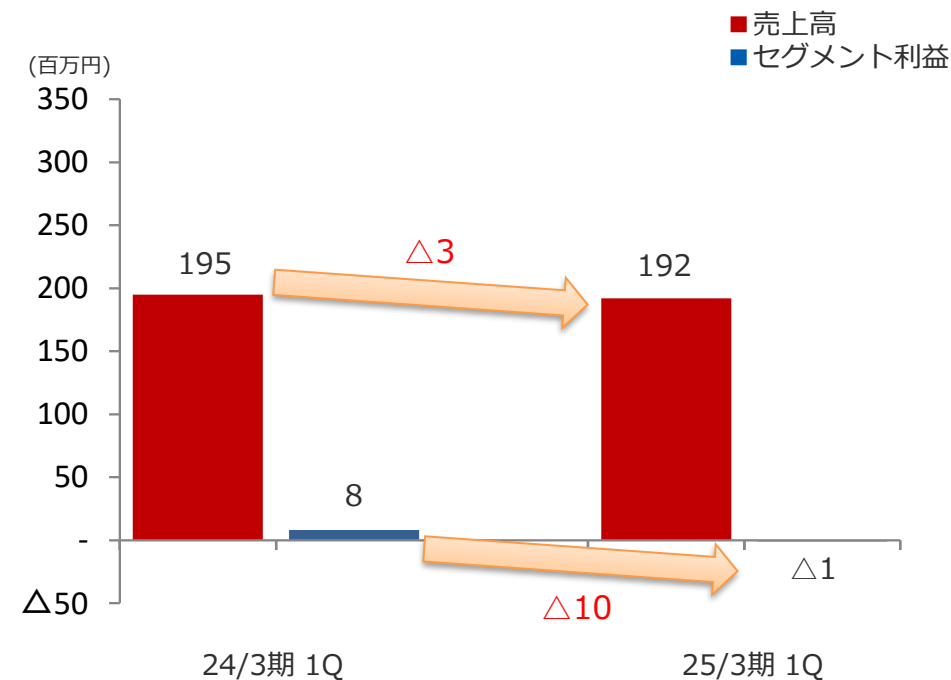
データアナリティクス事業

■取り組み方向性

- 主力ソフトウェア製品（Origin、Stata）を中心とした教育機関、政府研究機関、一般企業への販売
- デジタルマーケティングおよび学会併設展示会による新規販売強化
- 既存顧客への販促強化による、サブスクリプション（年間使用料）、メンテナンスの更新率向上

■当四半期概況

- 対前年同期比で売上微減、営業利益減
 - 前年同期に発生したスポット案件の影響も一般企業および政府機関へのパッケージソフト売上増、価格改定実施により同水準の売上を確保
 - 営業利益は価格改定実施も為替の影響を受け減少



トピックス

HEXAGON Update - 取組状況

賛同企業・団体：**82** (2024/6/30現在、HEXAGON発表2022/6/22 ~ 23ヶ月、一部連携団体含む)

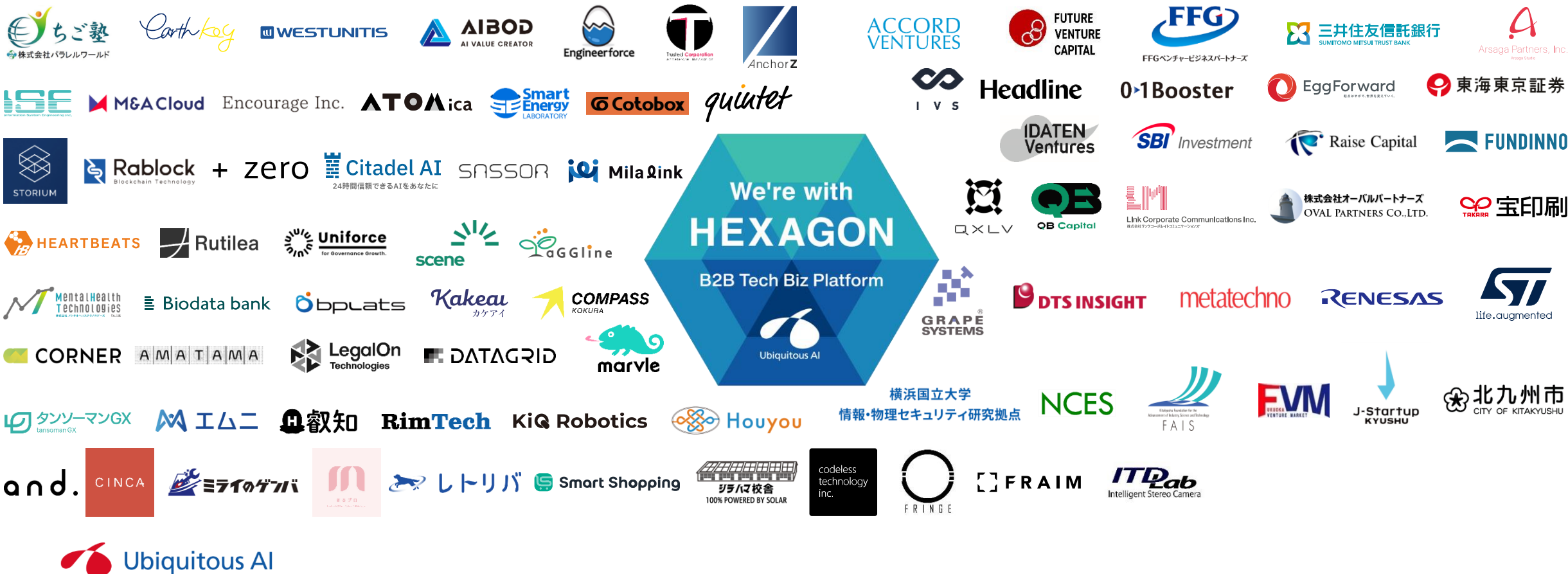
紹介による良い
「ご縁」のつながり

販売連携・事業連携
共同開発

資金調達・出資機会
紹介

スタートアップ間
連携

スタートアップ向け
支援プログラム





Ubiquitous AI